

神権の確立

重要な聖句「アロンとその子らの腰に帯を巻き、特別な頭巾をかぶせなさい。そうすれば、祭司職の権利は永遠に彼らのものとなる。このようにして、あなたがたはアロンとその子らを聖任するのである。」

出エジプト記29:9

厳選された聖典

出エジプト記29:1-9、35-37

出エジプト記の大部分は、イスラエルの幕屋の建設について書かれている。神は、イスラエル人がエジプトを出発してから約12ヶ月後の宗教的な年の初日までに、幕屋を完全に建設するように命じられた。神はまた、各調度品をどこに置くべきかをモーセに告げられた。出エジプト記40:1-8

モーセは神の忠実な僕として、受けた命令を指示された通りに実行した。(16-33節)。聖書は、イスラエルの礼拝の中心地（

）に関連する目に見える幕屋が、現在の福音時代の教会と未来の全人類家族に関連する天の現実を描いていたことを教えている。ヘブル9:23-28; 黙示録21:1-5

さらに、幕屋に関連して祭司職を務めるアロンとその息子たちに油を注ぐための指示が与えられた。これらの指示には、聖別式とイスラエルの祭司職就任に関する詳細も含まれていた。出エジプト記40:13-15; レビ記8章と9章

イスラエルの祭司職の就任式には、神の指示の下、詳細な儀式が執り行われた。使徒が、イスラエルとの取り決めは「来るべき良いことの影」であったと述べているように、私たちは、この奉獻祭から教訓を得ることが正当である。ヘブル10:1; 5:5-6

アロンとその息子たちの聖別式は7日間続いた。(レビ記8:33)。聖書では、7という数字は、その数字が適用されるものの全体、あるいは完全性を表すのに用いられる。従って、7日間の聖別は、大祭司であるイエスとその足跡に従う下祭司たちの聖別が、人生のあらゆる側面に関わるものであり、永遠に続

くものであるという事実を、
、非常に力強く描き出している。

すでに述べたように、イスラエルの祭司は、神がご自身の祝福をイスラエルに与え、ご自分に関係することを指示される存在であった。だから、神に完全に献身する大いなるメルキゼデク祭司職の一員となる見込みのある者もまた、この恵まれた地位に召された神の永遠の目的を悟り、感謝しなければならない。彼らは、来るべき神の王国において、全人類に祝福を施す"王家の祭司職"の一員となるのである。

「もし、レビ人の祭司職によって完成に達することができたのなら、なぜ、アロンの位ではなく、メルキゼデクの位の祭司が来る必要があったのでしょうか。祭司職が変われば、律法も変わらなければならないからです。これらのことが言われている人は、別の部族に属していたのであり、その部族から祭壇に仕えた者はいない。私たちの主がユダの子孫であることは明らかであり、その部族については、モーセは祭司について何も述べていないからである。...メルキゼデクのようなもう一人の祭司（
）が現れる。その祭司は、先祖に関する規定に基づいてではなく、不滅の命の力に基づいて祭司となっ

た者である。こう宣言されている：「あなたは、メルキゼデクの位階にある永遠の祭司です。ヘブル7:11-17